

公表

事業所における自己評価結果

公表日

令和 8年 3月25日

事業所名	関市中央親子教室					
チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	93%	7%	・お子さんの様子や活動内容によって部屋を変えたり、コーナーを作るなど工夫をしています。 ・混雑が予想される時には、地域資源を活用して、公園や乗り物体験などを利用し、活動内容をあらかじめ共有しやすいものにするなどの工夫をしています。	・引き続き、職員間で声をかけ合い、子どもの実態に合う活動内容が安全にできる環境を考えていきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	33%	67%	・利用定員に対する職員の配置数は国の基準を満たし適切ですが、療育を必要とする方が待機することがないように、療育回数を調整し待機する方がないようにしています。また、お子さんの状況に合わせて（園に登園できない、摂食指導の希望があるなど）療育回数や時間の調整をしています。	・引き続き人員確保を含め、体制整備に取り組んでいきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	93%	7%	・ままごとの部屋、製作活動を行う場所、乗り物あそびの場所と分けています。 ・写真やイラストを貼っておもちゃを片付ける場所や使用するロッカーの場所などわかりやすくしています。	・トイレのおむつ換えベッドが小さい時のベンチベッドの使用や、雨の際の送迎時の屋根付きスロープの利用の仕方について、職員間で周知します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・定期的に棚等の片付けをし、物の整頓をすることで、子どもたちにも分かりやすく、安全にも配慮することに気を付けています。 ・口に入れたものを入れるバケツを用意したり、療育で使用した物は、洗ったりアルコール消毒をしています。	・感染症対策として換気や入館時の健康チェック、手洗いを今後も行っていきます。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・個別室はいつでもだれでも利用できるようになっています。どこで活動したいか、子どもや保護者の希望に合わせて対応しています。	・個別室としてすぐ利用できるように、行事が終わったら速やかに片づけていきます。
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%	・改善点や困ったことがあるときは、朝会等に課題をあげて参加している職員で相談しながら検討しています。	・課題については職員間で周知・共有し、目標と振り返りを全職員で行っていきます。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・事業所評価アンケートや行事後の感想、親の役員会等で保護者からいただいた意見を含めて療育内容や運営に反映しています。	・今後も保護者からのご意見を広く聞いてまいります。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・提案して話し合いを行なっています。欠席している職員にも日誌等で伝達するようになっています。	・今年は、職員からの意見をもとに保護者とのお便りBOXの活用案を取り入れるなど業務改善にもつなげています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	80%	20%	・外部の方々で構成する運営委員会を開催し、毎年の取り組みや運営について報告し、ご意見を伺っています。	・指導方法研究会への参加者や、ボランティアや見学者等、外部から意見を伺う機会をより増やしていきたいと考えています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・外部の研修や施設内の研修の機会を確保し、研修の内容を他職員に伝達することで自身の学びが整理でき、職員同士も資質向上にも繋がっています。	・長期的な研修計画に基づき、研修時間を確保していきます。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・発達のベースとなる愛着形成を大切に、支援内容を図やイラストを用いて施設内に掲示、HPに載せています。	・親子のニーズに合わせ、プログラムの見直しを行っていきます。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	100%	0%	・保護者と面談を行い、子どもの様子や保護者のニーズを聞き取り、児童発達支援管理責任者と担当職員が話し合って子どものアセスメントをして計画を立てています。	・子どもの捉えや理解を深めるために、ケース会議、支援会議をする時間を確保する。 ・親子のニーズに沿った支援計画となるように努力していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・児童発達管理責任者や相談支援専門員、療育担当で子どもの実態や子どもを取り巻く環境について共通理解し、計画に反映しています。	・今後も児童発達支援管理責任者と相談支援専門員、療育者が話し合いながら支援計画を作成していきます。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・児童発達支援計画を個別にファイルし、職員間でいつでも見ることができるようになっています。	・引き続き子どものニーズや保護者の意向を聞きながら個別支援計画を作成し、計画に沿った療育を行っていきます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・発達検査や日々の行動から子どもの実態を把握するよう努めています。 ・KIDSなど子どもの特性に合わせた検査を選択しています。	・家庭、園と連携し、様子の変化を観察したり、多方面からアセスメントを行うことを心がけます。今後もアセスメントの研修を行います。

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者と面談を行い、児童発達支援管理責任者、相談支援従事者、療育者と共にその都度支援内容を考えています。 ・園や家庭の様子や視点も取り入れるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より子どもの実態や、保護者のニーズに合った支援計画が作成できるよう、職員研修やケース会議を行っていきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達管理責任者や相談支援専門員、療育担当職員間で療育について振り返りや計画、相談をしながら取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き職員間で相談しながら支援にあたりたいと考えています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・体験活動なども適宜取り入れ、子どもの興味や活動の幅が広がるようにしています。 ・保護者や子どもの意見も取り入れつつ、職員間で検討しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も職員間で活動内容について情報を交換したりあそびについて学ぶ機会を作り柔軟な発想につなげていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもへの関心や興味を、子ども同士の遊びの中で経験できるように活動を計画したり、遊びの中で職員を介して関わりを持つ機会を作っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別的な活動と集団での活動それぞれの活動目的や考え方、方法についてその都度保護者の意向を聞きながら職員間で話し合いをしていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・朝会時にその日の予定、共通理解しておきたいこと等について報告し、共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前の話し合いや準備時間の確保がしやすいように、業務内容や勤務時間の使い方を検討します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で話をしながら、振り返り互いの療育で気づいたことを共有しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動が終わった後に、振り返りの時間を確保できるように勤務時間の使い方を検討します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回療育終了後に記録を作成し、次回の支援の手だてや活動計画につなげています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・記録の内容や書き方を見直し、支援の更なる改善につなげていきます。
23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回保護者と面談をし、意向を伺っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き今後も面談を半年に一回行い、支援計画や療育内容の見直しを適切に行っていきます。 	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・会議内容によって児童発達支援管理責任者、療育者、相談員など適切な職員を参画させています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も引き続き、対象となる親子に合わせて、参加する職員を検討していきます。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに合わせてそれぞれの機関と連携して支援しています。 ・就学について学校見学や相談に同行することがあります。 ・保健センター、子ども家庭センター、教育委員会など、様々な機関の会議に参加しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も連携が必要な関係機関や連携の方法、内容等について検討していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・園訪問を行い、園の先生と相互理解を図っています。 ・年2回の定期園訪問以外にも、必要に応じて園の先生と連絡を取り合っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・通所児と保護者が安心して地域の中で生活していけるよう、今後も関係機関と連携を取り、継続したサポートを行っていきます。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の意向を確認したうえで学校へ個別相談にうかがったり、入学時には引き継ぎを行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子ともに安心して学校に通えるよう、教育委員会や学校と連携をとっていきます。
	28	地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関との懇談（保護者の同席もあり）において、幼児期のアタッチメント形成の大切さや子ども理解についても伝えるよう心がけています。 ・公開療育を行い、関係機関の方に参加していただいて、話し合う機会があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後とも公開療育（指導方法研究会）を実施し、参加者から意見をいただくことで職員の知見を深めています。
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・公開療育や内部で行うケース検討会に外部から助言者を招いて意見を頂いています。また理学療法士や作業療法士に非常勤で来ていただいています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が研修に参加できるよう日程を調整し、研修を行っている。学びについて意見交流するなどし、資質向上に努めています。
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・関係機関と提携を深めることにもつながることから、積極的に参加しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も会議等に参加し、参加職員が報告を行うことで職員間で共有していきます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園で他の園児と一緒に活動したり、交流しています。 ・公園などで療育を行ったときには一緒に遊具を共有して遊んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も様々な子どもとの関わりが持てる機会を設けていきます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・療育で見られた姿を帰りの前にお話ししています。また、療育中やノートを活用し、お家の様子をお聞きして共通理解を深めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの親子に合わせた伝え方や、一方的な伝達にならないよう伝え方を検討してきます。話しやすい関係が持てるよう努めます。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・適宜、情報を発信し、施設内にも掲示するなど情報提供に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・親子療育やペアレントトレーニング等の家族支援プログラムについて、職員が知識を持ち、必要な療育や支援を考えていきます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・契約時に説明するとともに、施設内に常時掲示しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始時と、新年度には再度確認ができるように努めています。保護者にわかりやすい説明の仕方を考えていきます。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に保護者のニーズを伺うようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き親子のニーズに沿った支援計画となるように努めていきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	93%	7%	<ul style="list-style-type: none"> ・1つ1つの項目について保護者に説明し、同意を得てサインをもらうようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き計画の内容について保護者に丁寧な説明をしていきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に1回は面談を行い、それ以外に保護者からの申し入れがあった場合は、その都度話をうかがうようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・相談内容によって、担当職員だけでなく、児童発達支援管理責任者や相談支援専門員が参加し、応じていきます。

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・母親交流会を年2回行っていますが、今年度は保護者からの要望もあり、3回目を開催しました。土曜日に行事を行い、きょうだいも参加できるようにしています。 ・親の役員会、交流会、おしゃべりウィーク、母親交流会など親同士が交流できる機会を作っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、保護者同士が交流する機会を計画していきます。また、随時保護者のニーズに合わせた交流の機会を計画していきます。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの申し入れがあった場合、すぐに対応できるよう、職員同士協力して対応しています。また、必要に応じ相談支援専門員にも話を聞いてもらうなどの対応もしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の方から相談を申し入れやすい関係、環境を日頃から作っていきます。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・「すぐる」を活用して行事のお知らせや報告、今後の予定、また、通信などを配信しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・掲示の仕方や発信の方法について、伝わりやすいように工夫、見直しをしています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・書類が第三者の目に触れることの無いよう留意するとともに、写真、動画等についても使用する場合は保護者の了解を得るようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、個人情報の取り扱いについて十分に留意していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・伝達事項を書いて伝えるなど、個別に必要な対応をしています。 ・外国にルーツのある保護者に伝える時や、保護者の話を聞く時は、通訳を依頼し、コミュニケーションを図っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、親子の実態に合ったコミュニケーションの取り方について考えていきます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	87%	13%	<ul style="list-style-type: none"> ・行事でのボランティアやライオンズクラブの受け入れや、職員研修のための機会や見学を受け入れています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、地域住民との交流の機会を考え、大切にしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火事、不審者、感染症などの対応訓練を年数回、職員全員で実施しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・マニュアルは必要に応じ見直し、訓練の実施にあたっては保護者に周知し参加を促していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を定期的に行っています。内容もハザードマップを用いた確認や、施設内ではどこに避難するとよいかなど、その都度計画し、訓練後の振り返りも行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、訓練日時や訓練方法を事前に掲示でお伝えし、参加を呼び掛けていきます。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・継続児は年度始めに、新規の方は利用開始時に必ず服薬等について保護者から聞き取りを行っています。また、生活の中での発作等の様子を毎回確認しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・変更がある場合は、療育の際に申告していただいたり、面談時に確認していきます。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・継続児は年度始めに、新規の方は利用開始時に必ずアレルギーについて確認しています。また、食物を食べる前にもアレルギーについて保護者に確認をしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、職員間でアレルギー等の情報を共有し、調理員とも連携をとっていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・職員で研修をしたうえで、通所児家族の協力を得ながら訓練を行っています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練を通じ、危険箇所等について職員間で共有しています。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・危険認知について、保護者からも情報をいただき利用者に関わる際に配慮事項を考えておくようにしています。活動によって、事前に予測される姿を保護者に確認し、安全に活動できるようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具であそぶ時や戸外活動の際には、子どもの予測される姿について保護者と話しあい、対応について考えていきます。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・朝会で報告して職員間で共有し、改善すること、今後の療育で意識することについて話し合っています。 ・事例をあげて、環境や支援者の関わりの改善について検討しています。些細な事例でも、共有し安全配慮に努めています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、ヒヤリハットの報告と合わせて検証、予防対策について職員間で検討していきます。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・虐待防止研修を定期的に行い、毎月末にチェックシートで振り返りをしています。また、虐待を防止するための関わり方などを、具体的に研修で学び、利用者への関わりに活かしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も研修を通じ、虐待防止に努めていきます。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	100%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・通所児の行動を安全面から一時的に制止する場合などを計画に適切に記載し、保護者に説明をし同意を得るようにしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から状況を想定し、対応を職員間で話し合い周知していきます。 	